

# 主日礼拝

2020年11月29日  
午前10時30分

## 前奏

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「城門よ、頭を上げよ  
とこしえの門よ、身を起こせ。  
栄光に輝く王が来られる。  
栄光に輝く王とは誰か。  
万軍の主、主こそ栄光に輝く王。」 (詩編24:9,10(11))

## 点火 242-1

「主を待ち望むアドヴェント」1節

## リタニー「アドヴェント」

司式者：アドヴェント、小さな灯がともります。  
主の日ごとにともります。

みんな：わたしたちの心にも、小さな灯がともります。

司式者：東の空に輝く大きな星、光をまして招きます。

みんな：星に導かれ旅する博士たち、ユダヤの地をめざします。

司式者：ベツレヘムの夜空に、救い主の誕生を祝う  
天使のうたごえがひびきます。

みんな：羊飼いたちはその知らせに大喜び、幼子イエスさまをたずねます。

一緒に：わたしたちの心にも、イエスさまを迎えることができますように。  
マラナ・タ、主よ、きたりませ。

## 祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出されたまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン。

## 聖書 イザヤ書 2:1～5

旧約(新共同訳) P1063

アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて幻に見たこと。

終わりの日に

主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ちどの峰よりも高くそびえる。

国々はこそって大河のようにそこに向かい多くの民が来て言う。

「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。

主はわたしたちに道を示される。

わたしたちはその道を歩もう」と。

主の教えはシオンから

御言葉はエルサレムから出る。

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし

槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かって剣を上げず

もはや戦うことを学ばない。

ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。

## 賛美 231 「久しく待ちにし」

Veni, veni, Emmanuel  
詞：ラテン語聖歌，9世紀

VENI EMANUEL  
編：Processional, 15世紀

1 ひさしくまら - にし すくいの主き - たり、  
2 この世にうち - かつ ちからの主き - たり、  
3 やみのよをて - らす ひかりの主き - たり、  
4 われら をみち - びく のぞみの主き - たり、

とらわれのた - みを ときは なちた - まえ。  
> しょうりのこと - ばを あたえよ、われ - らに。  
> くらきくもは - らい よろこびを た - まえ。  
> みくにの とび - らを いま ひらきた - まえ。

(くりかえし)

よろこべ、インマ - ネルきたりてすく - いたむ。

## 説教 「光の中を歩もう」

## 賛美 509・こ) 121 「光の子になるため」

1. ひかりのこに なるため ついて ゆきま す  
2. しゆのかが やきみるため すすみ ゆきま す  
3. しゆのふ たたび くるひを まちのぞ みま す

このよを - てらすため こられたしゆイエスに  
しめされ - たこみちを みかみのみもとに  
しんこうを - まもりぬき みまえに たつひを

(くりかえし)

しゆのうちにや みはなく よるもひるもかがやく

こころのなかを わがしゆよ てらしてくだ さい

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにいます。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏

司式 大代 恵  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。